

(様式6-3)

研修等 報告書

令和5年5月16日

三田市議会議長

松岡 信生 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

|                |   |       |
|----------------|---|-------|
| 会 派 名          | 代表者   | 印     |
|                | 議員名   | 井上 昭吾 |
| 参加者氏名          | 井上 昭吾   |       |
| 講演会等研修名        | 10年目までの議員向け特別セミナー I                                     |       |
| 研修事項           | ・初当選議員が失敗するポイント<br>・議会のルールに翻弄されないために<br>・質問する際に押さえるポイント |       |
| 日 時            | 令和5年 5月11日(木曜日)～ 令和5年 5月12日(金曜日)                        |       |
| 場 所            | リファレンス新有楽町ビル 東京都千代田区有楽町1-12-1                           |       |
| 所 見<br>(別紙でも可) | 別紙参照  |       |
| 添付資料           | ・10年目までの議員向け特別セミナー I<br>～議員20年の経験から語る基礎講座               |       |

添付書類(講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

## 研修所見

議員名 井上昭吾

研修名 10年目までの議員向け特別セミナー I

日時 令和5年5月12日（金）

### 所見

宮本正一氏は兵庫県立大学とボストンウェントワース工科大学を卒業し、神戸大学で経営学修士（MBA）、大阪市立大学で医学博士号を取得した文理横断の多彩な知識を有した方であり、さらに寝屋川市議会議員を5期20年務め、現在は日本公共経営研究所代表、奈良県吉野町役場政策アドバイザー等を務める経験豊富な信頼できる人物で、今年1月にも研修を受けた講師である。

理想の地方議員の成立要件として、地方自治体が①効率的・自主的な経営をしている、②市民・NPOと具体的な協働をしている、③行動力のある政治家を選出している、といったことが挙げられる。また、議員自身が①新しい市民ニーズへの対応力を持ち、②地域課題を明確化し、③課題解決プロセスを可視化することが重要である。

初当選議員が失敗するポイントは、まず「アリが巨象を倒そうとする」、つまり、いきなり大きな目的を達成しようとして、ヒト・モノ・カネを運用する短期的な視点での戦略を軽視することである。どんな些細な陳情でも徹底的に耳を傾ける姿勢を失ってはならない。次に「議長を敵に回してしまう」ことにも注意を要する。議長は議会を代表し、民主的かつ効率的な議事運営をする義務があり、議会における質問は議長の許可が必要であることから、議長との関係が悪ければ、議会での質問と答弁がかみ合うような進行が期待できないからである。

次に、「知識がない議員の意見は誰も聞かない」ことを肝に銘じておくべきである。一目置かれる議員は、例えばSNSでの発信といった新しい市民ニーズへの対応力があり、自治会と良好な関係を持つことで地域課題を明確化でき、陳情・請願等といった解決法を住民に対して可視化する力を持つといった特徴がある。また、自分の経歴や興味を活かすことは大切で、ある一面で優れてい

ると他の面でも優れているとみなすハロー効果を軽く見てはいけない。興味と規則性があれば脳はどんどん記憶するので、自分の得意分野を伸ばして相手より多い知識を持つことを心がけるとよい。

議会のルールの中には、法律・条例などで決まっているものもあるが、単なる先例・慣習に基づいているものもある。そのルールが無党派議員に不利になっていないか、執行部側に有利になっていないかなどを検証し、気になることがあれば法律や条例、最新先例集などに目を通すことも重要である。

議会での一般質問には、執行機関の所信・事実関係を質すことで政治姿勢・政治責任を明らかにし、現行の政策を変更正、新規の政策を採用させる効果がある。少し古いデータ（2014年）だが、早稲田大学マニフェスト研究所が実施した「地方議員の印象」を聞く住民調査では、「議員がいてもいなくても同じだ」との回答が35%にもなっている。このまま議員活動が住民から見えなくなると、住民の不信感が募り「議員不要」の声が高まらないとも限らない。役所を動かす一般質問をしなければ議員も生き残れない時代になっている。議員活動が見える形にする最も有効な手段は一般質問なので、しっかり準備して役所を動かす質問をしてほしい。執行部と対立するのがよいわけではないが、多少面倒くさい議員と思われるくらいがちょうどよい。副総理にもなった政治家、後藤田正晴氏の「役人は政治家をバカにすることがあるが、それは間違いだ。政治家は多くに人間に自分の名前を書かせるだけの何かを持っているのである」という言葉を胸に、自信を持って政治活動に取り組んでほしい。

以上が研修内容のまとめである。1月に同じ講師からの研修を受けており、内容で重なる部分も一部あったが、地方議員の活動に熱い思いを持つ経験豊富な宮本講師の話には説得力があり、たいへん刺激を受けた。特に印象に残ったのは、議会をよくしようとするなら議場での質問と答弁に緊張関係が必要で、一般質問で何を聞いてくるのかと執行部から警戒され、一目置かれる議員になってほしいという指摘である。そうなれるように勉強し、市民に資する一般質問で三田市に貢献できるよう努力していきたい。

以上